



観光で みやぎを元気にしよう!

「平成18年度観光動態調査」の結果から



宮城県

観光王国みやぎの実現をめざして



県内に多くの観光客を迎え入れることは、県民の方々と観光客との交流の機会を増やし、互いの文化や食生活などについての理解が深まります。観光客からの声を聞くことで、私たちは県内の長所・短所に気づき、地域づくりに取り組む契機になります。また、観光客による消費活動は、県内の所得収入を増やし、生産や雇用への経済波及効果をもたらすことから、県経済に大きく貢献します。

今、少子高齢社会の到来や人口減少に伴う県経済の停滞が懸念されています。本県では経済の持続的な成長と活力向上を図りながら、県民一人ひとりが誇り、生きがいを持ち、より安心して暮らせる「富県共創」の実現を目指し、観光振興を重点戦略の一つとして位置づけました。多くの観光客が訪れ、さまざまな活動が刺激される「観光王国みやぎ」を実現するため、県民の皆様、NPO、民間事業者、市町村、県が一体となって観光振興に取り組んでいきましょう。

1. 活力を高める観光の役割

空港や高速道路など交通体系の整備が進み、テレビやインターネット、携帯電話などが普及したため、世界中の人々は容易に必要な情報を得て観光やショッピング、ビジネスなどで国内外へ出かけるようになってきています。

一方、県内では人口が減少してきており、私たち県民が元気に生き生きと暮らし続けていくためには、定住人口（県内に居住する人々の数）を増やすだけでなく、交流人口（海外も含め、県外からの観光やショッピング、ビジネスなどで訪れる人々の数）を増やしていくことが求められています。

そこで、交流人口の増加をもたらす一つの手段として、県内に多くの観光客が訪れるようにするための取り組みが必要です。



観光はみやぎの活力



高速交通体系の整備により国内外の交流人口が増加している東北の玄関口、仙台空港。



効能豊かな東北有数の温泉郷



三陸海岸の新鮮な海の幸



四季折々、豊かな表情を見せる山々



昔の繁栄を伝える山車行列



定禅寺通の美しい都市景観を活かし、音楽を通じた文化交流が進む定禅寺ストリートジャズフェスティバル in SENDAI

3. 観光を活用した地域づくり

「みやぎ」には、定禅寺通や青葉山など緑豊かな都市・仙台があり、蔵王や栗駒山などの四季折々の豊かな表情を見せる山々、「米どころ宮城」の広々とした田園風景、新鮮な海の幸をもたらす三陸海岸、おおらかでゆったりとした県民性など、まだ知られていないことを含め、たくさんの魅力があふれています。

多くの観光客に「みやぎ」の魅力を十分に味わってもらう

ためには、地域全体で観光客を温かくお迎えし、もてなし、旅の感動を共有し満足してもらうことが必要です。

私たちが住んでいる地域を花で飾ったり、祭りやイベントを始めたりするなど地域づくりに取り組み、訪れた人々を温かく迎えることによって、多くの観光客が「みやぎ」を訪れるようになり、交流人口が増加し「みやぎ」がますます楽しく元気になってきます。

2. 観光による経済効果

県内に多くの観光客が訪れ、郷土料理を食べたり、旅館に泊まったりするなどの消費活動を行うことで、県内に大きな経済効果をもたらされます。

平成17年観光統計概要によると、平成17年の1年間に本県には延べにして観光客入込数で5,441万人、宿泊観光客数で792万人が訪れました。

平成18年度観光動態調査によると、平成17年の観光客による宿泊費、飲食費、みやげ代などの観光消費額は5,568億円

【図1】観光による経済効果



で、その波及効果3,986億円と合わせると、観光による経済効果は9,554億円にのびりました。(図1、表1)

また、観光による消費活動は、ホテル、旅館、飲食店などのサービス業はもとより、バスやタクシーなどの運輸業、みやげ物の製造販売業、ホテルや旅館、飲食店などに食材を提供する農林水産業など様々な県内産業の生産や雇用へ影響を及ぼしています。(表2)

さらに、1人当たりの平均消費額は、県外からの宿泊観光客で53,400円、県内の日帰り観光客で7,000円となります。そのため、経済効果として、県外からの宿泊観光客1人を増やすことは、県内の日帰り観光客7~8人分を増加させることに相当します。

なお、観光消費額5,568億円は、県内総生産(平成16年度)8兆4,407億円の6.6%に相当します。

【表1】観光による消費区分別経済効果

消費区分	観光による経済効果 (億円)			生産誘発率 (倍)	雇用誘発数 (人)
	観光消費額	波及効果	合計		
宿泊費	1,617	1,102	2,719	1.68	27,295
飲食費	1,392	949	2,341	1.68	23,497
みやげ代	595	451	1,046	1.76	10,592
交通費	432	338	770	1.78	5,279
入場・観覧費	203	138	341	1.68	3,427
その他	1,329	1,008	2,337	1.76	23,658
総額	5,568	3,986	9,554	1.72	93,748

出典:平成18年度観光動態調査

【表2】観光による産業別経済効果

産業大分類	観光による経済効果		雇用誘発数	
	実数(億円)	構成比	実数(人)	構成比
農業	68	0.7%	186	0.2%
林業	4	0.0%	13	0.0%
漁業	15	0.2%	102	0.1%
鉱業	3	0.0%	21	0.0%
製造業	427	4.5%	1,346	1.4%
建設	90	0.9%	681	0.7%
電気・ガス・水道	309	3.2%	942	1.0%
商業	2,336	24.5%	31,321	33.4%
金融・保険・不動産	1,045	10.9%	2,304	2.5%
運輸・通信	984	10.3%	6,312	6.7%
公務	13	0.1%	66	0.1%
サービス	4,217	44.1%	50,454	53.8%
分類不明	43	0.5%	0	0.0%
合計	9,554	100.0%	93,748	100.0%

出典:平成18年度観光動態調査



4.県における観光振興の取り組み

県では、経済の成長や地域づくりに大きな効果がある観光振興の取り組みを「富県共創」の重点戦略として位置づけ、「観光王国みやぎ」の実現を目指しています。

その一環として、平成20年10月から12月まで、仙台市をはじめとする県内各地において、地元観光関係者、市町村、県、JR6社等が協力して大型観光キャンペーン、「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を実施します。

このキャンペーンを契機に県内各地の観光資源を全国へと情報発信し、より多くの観光客の誘致を図り、県経済の活性化につなげていきます。

また、県内各地域が新しい観光資源を掘り起こし、観光につながる資源を磨き上げるなど、県民の皆様、NPO、民間事業者、市町村が一体となった、地域づくりに取り組んでいきます。



昔人になりきって
旧街道を探索する

「観る」から「体験」する観光へ
農家民宿での田植え体験を通して農業の魅力を伝える新しい旅の形、グリーンツーリズムなど、「観る」観光から参加する観光、「体験」する観光が人気を呼んでいます。



人気の山村風景
棚田も今だ健在



新鮮な高原野菜は
ベジタリアンの人気の的



海の幸を産地で味わう
浜っ子気分が最高



太公望なら憧れる
リアスの海の仕立て船

仙台・宮城デスティネーションキャンペーン

平成20年10月から12月まで、豊かな食と文化に恵まれた宮城の魅力を活かした大型観光キャンペーンを実施します。

美味し国  伊達な旅
仙台 SENDAI・MIYAGI 宮城

5.これまでにない「みやぎ」の物語を描いてみよう!

今、かつての代表的な観光地を巡る旅行から、「今まで行ったことがない魅力ある地域を巡りたい」、「ゆっくり滞在したい」、「文化や食べ物に親しみたい」といった新しい形の旅行に少しずつ人気が集まってきています。

これまで観光客に知られていない地域であっても、その土地にしかない魅力ある自然や文化、食べ物などの観光資源を組み合わせ、「みやぎ」の物語を連想させてくれる旅行プランを情報発信することで、多くの観光客が「みやぎ」を訪れるようになります。

もし、あなたが地域をより良くしたいと考えているのなら、この機会を活かし、多くの観光客が「みやぎ」を訪れるために何ができるかを考え、取り組んでいきましょう。

是非、この「みやぎ」の大地にあなたにしか創れない、誰もが行ってみたいくなる物語を描いてみましょう!

